

2024 July

Vol.89

# 広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>  
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



## CONTENTS

■形成外科紹介……………	2	■栄養士のつぶやき <sup>64</sup> ……………	8
■外科紹介……………	3	■地域医療連携室紹介……………	10
■令和6年度看護の日のイベント……………	3	■地域医療連携室実績報告……………	12
■令和6年度特定行為研修入講式……………	5	■紹介医療機関実績報告……………	12
■ひこばえ通信 Vol.15……………	6	■DPC対象病院へ移行のお知らせ……………	13
■患者図書室から……………	7	■外来診療担当医表……………	14

## 病院理念「患者さんと共に」

### ■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

### ■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター  
「にっしーくん」

## 形成外科紹介 形成外科での再生医療

形成外科 藤 高 淳 平



2021年4月から形成外科を新設しました。3年が経過し、少しずつ認知度が向上してきましたが、まだまだ聞きなれない方も多いかと思えます。名前通り、形を作り、失われた組織を再建することを目的とする診療科です。特定の臓器や器官を対象とせず、身体に生じた異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質 "Quality of Life" の向上に貢献します。

その中でも今回は当院で行っている再生医療について、紹介します。再生医療といえば、すごく難しいイメージを持たれている方も多いかと思えますが、足場、細胞、サイトカインという3本柱がそろえば完成です。サイトカインとは、細胞を増殖させるために必須の因子で、形成外科では傷を早く治す薬（フィブラスプレー）を使います。足場は、人工真皮という豚のコラーゲンからできたスポンジがあります。これは下着メーカーでおなじみのグンゼが作っています。そのスポンジの穴に自分の皮膚の細胞が入り込み、皮膚が再生していきます。

これを応用し、なかなか治らない傷（難治性潰瘍）の治療に使います。擦り傷程度の軽い傷なら、数日の塗り薬で治りますが、糖尿病や膠原病などの病気があったり、血流が悪かったりと、様々な原因で、数か月も数年も治らない傷ができることがあります。

実際の方法は、まず潰瘍に付着した汚い組織を除去し、人工真皮を貼り付けます。その時、同時にフィブラスプレーも噴霧すると、10日程度徐々に薬が放出され、血管が多く出来て傷の治りが早まります。一度に薬が放出されずに、10日かけて徐々に放出されるのが重要で、これは従来の人工真皮に、ゼラチンを混ぜることで可能になりました。ゼラチンと薬は引っ付くのですが、その後ゼラチンが少しずつ溶けるときに同時に薬が放たれる仕組みです。ゼラチンは料理だけでなく、医療でも役立っています。

なかなか治らない傷があり、困っている方や、早く傷を早く治したい方は、お気軽にご相談ください。

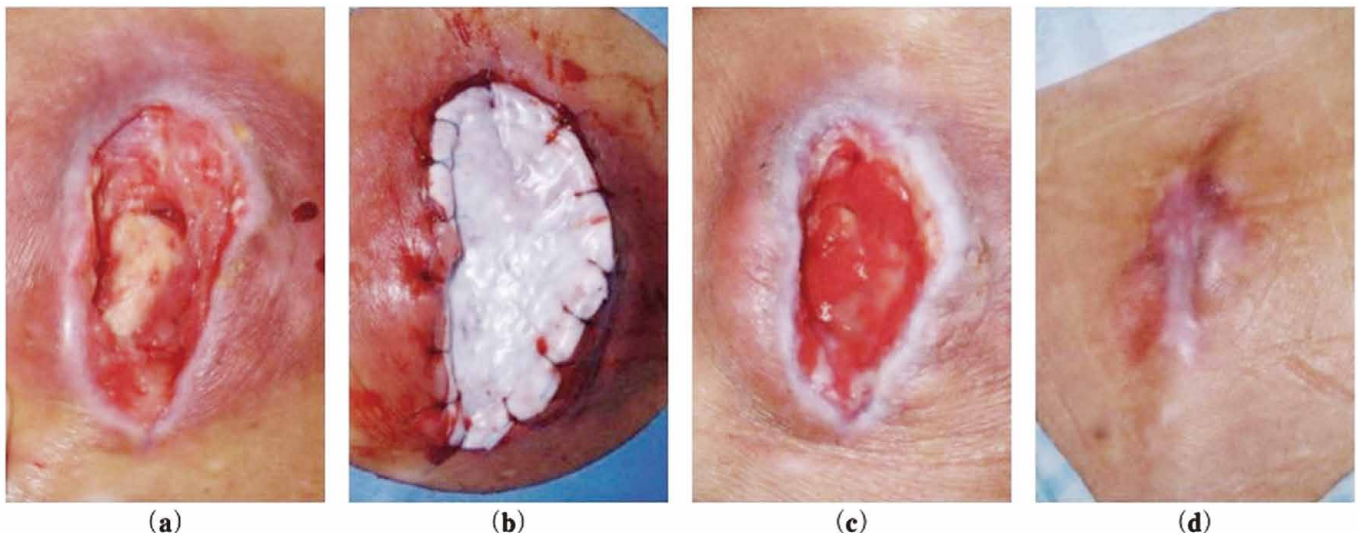


図1 78歳、男性、胸椎褥瘡。

- (a) 保存的治療では棘突起が露出したままで治療が遷延した。
- (b) 人工真皮移植直後
- (c) bFGF併用療法開始後10日目、露出した骨が肉芽組織で被覆された。
- (d) 4カ月後、保存的治療にて創閉鎖が得られた。

## 外科紹介

外科 嶋谷 邦彦



当院の外科では、消化器疾患（胃癌、大腸癌、胆石胆嚢炎、虫垂炎、肛門疾患など）、甲状腺や乳房の疾患、呼吸器疾患、ヘルニア（脱腸）など、幅広い外科疾患の診断・治療をおこなっています。乳癌など早期発見が大切な病気の検診・診断・治療や、術後の患者さんや、手術ができないくらい進行した消化器癌の化学療法（いわゆる進行・再発癌に対する抗癌剤治療）、消化器がんの患者さんの緩和医療も外科でおこなっています。

病院によってはそれぞれの臓器ごとに細分化され、抗癌剤治療も臨床腫瘍科・化学療法部など外科以外の専門部門でおこなわれることもありますが、手術にもかかわった主治医が術後の化学療法も、地域のかかりつけ医である開業医の先生とも連携をとりながら、地元で、患者さんの状態に応じてかかわることは、患者さんにとって大きなメリットがあると考えています。更に高度に専門化された特殊な医療が必要な場合には、大学病院をはじめとする専門施設に紹介して最適な治療を受けていただいています。

現在では、胃癌、大腸癌をはじめいろいろな病気において、標準化された治療が決められており、癌治療認定医などの資格を持った外科医が、患者さんの状態に応じて、標準化された治療法をご自宅の近くの病院で受けていただくことはご本人・家族の方にとって、病気と付き合っていく上で大切なことだと思います。

当院の外科は現在、石崎康代医師、米神裕介医師、豊島幸憲医師と優しい先生ばかり 計4人の外科チームとして治療にあたっています。

## 令和6年度看護の日のイベントを開催しました

副看護部長 梶山 ナミ恵

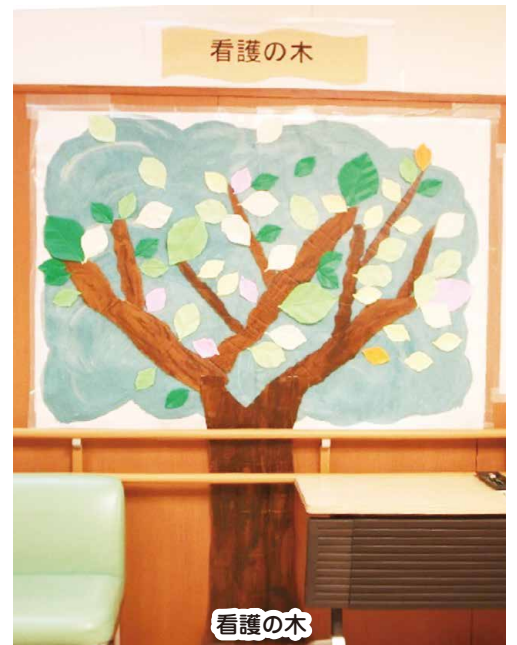
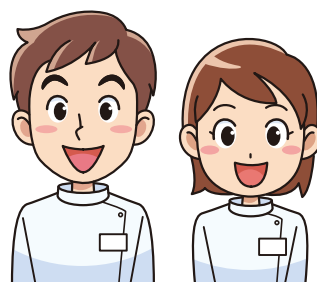


2024年5月10日(金)～17日(金) 広島西医療センター 外来フロアや病棟で「看護の日」のイベントを開催しました。

外来の患者さんにも参加していただけるように外来の壁に「看護の木」を準備して、手作りの葉にメッセージを自由に記入して木に貼ってもらいました。

各病棟や認定看護師・特定行為認定看護師・診療看護師活動紹介のパネルを作製して、外来ホールから売店までの通路に展示し、患者さんにご紹介させていただきました。

広島西医療センターを少しでも知っていただけたでしょうか？慢性病棟には、病院公認マスコットの“にっしー君”がナースキャップを被って患者さんを訪問しました。





病棟紹介パネル

にっしー君 病棟訪問



患者さんの笑顔を見ることができて  
僕もうれしかったです♪



## 令和6年度特定行為研修入講式を開催しました

初夏の爽やかな風が気持ちよい令和6年6月3日、在宅・慢性期領域パッケージの特定行為研修に、4期生として3名の受講生が期待に胸を膨らませ入講しました。

研修生代表挨拶では、「患者の個別性、生活リズムに合わせた処置を行い、患者のQOL向上につながる看護実践をしたい。」「臨床推論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学の学びを深め後輩育成に活かしたい」という思いから受講を決意した。」「貴重な研修期間の一日一日を大切に新しい知識、技術を習得したい。」という志が述べられました。

これから7ヶ月間、受講生同志チームワークを大切に切磋琢磨し乗り切って欲しいと思います。  
万全な指導体制で受講生をサポートしていきたいと思います。



# ひこばえ通信 Vol.15 「ゴイサギの憂鬱」

統括診療部長 浅野 耕助



年を追うごとに夏の暑さが増しているように感じるこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。初夏に巣立ったツバメの若鳥が楽しげに飛び回り、両親は次の雛たちの世話に明け暮れているようで、いくら猛暑で雨がたくさん降ろうとも、この営みは太古の昔から何も変わらず延々と続いており、自然の悠久の流れを感じずにはおれません。暑いとか鬱陶しいと

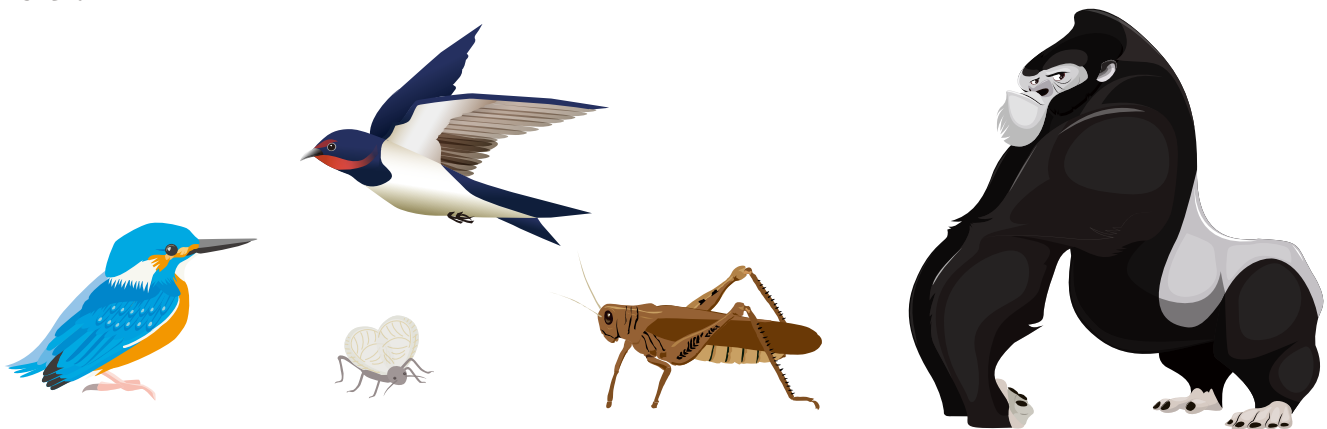
か苦情を言っているのはホモサピエンスだけのようですね。

前回ゴイサギの紹介で、“五位”を戴くサギとして幼鳥期のホシゴイ、近似種のササゴイを挙げましたが、もう一種いました。“ヨシゴイ”です。五位を戴くサギとしては一番地味ですが、飛翔の時にしか見ることができない風切り羽根が見事な藍色で、これはこれで美しい鳥であります。忘れていてごめんなさい。



さて、醍醐天皇から賜った五位を冠するサギたちですが、当の鳥たちはどういう風に思っているのか考えてみました。ひこばえ通信ではこれまでもいろいろな動植物について、受け売りの蘊蓄を紹介してきましたが、これらはすべて人間主体の立場からの考察でした。ゴイサギからすれば“五位って何？そんなもん押し付けられても知らんがな”なのでしょう。そもそも人間の営みなど目に入っていない、認識していないのではないかと思います。鳥の視覚は人間より優れている、網膜の光受容体錐体細胞が4種あって紫外線が見えている云々といわれますが、これも人間を中心に考えた解剖学からの知見で、鳥たちが世界をどう認識しているのかは鳥になってみなければわからない話です。鳥だけでなくゴリラ然り、プラチナコガネ然り。植物でも外界を認識して何かしら概念をもっているように思えてなりません。でなければ個人的な花を咲かせたり、紅葉して落葉して、次代の芽吹きをむかえることができないと思うのです。それらの営みを見ていると、この世には我々が感知できないもっと広大な世界が広がっているように思えてなりません。人間だけが目に見えて聞こえて触れるものだけがすべてだと思い込んで、地球が自分の所有物のように考えて振舞っているのです。そのような狭い世界の中で、限られたパイを奪い合って争っているのが我々なのです。

ひこばえ通信を連載するようになって、身の回りの小さくてはかない生命に思いを馳せるうちに、このようなどころまで来てしまいました。次回は最終回としてこれまでの生き物たちを振り返ってみたいと思います。





## 患者図書室から



### 暑い夏を乗り切ろう！！ おススメ！「からだにいい本」



連日の猛暑。夏バテで食欲がない・・・そんな時こそ、栄養バランスのとれた食事と休養が必要です。図書室には、皆さまのお身体の状態に合わせた食事の本をたくさんご用意しています。あなたにぴったりの本を見つけて、暑い夏を乗り切りましょう！



#### 「1/2日分がとれる！ 鉄レシピ」

(女子栄養大学栄養クリニック 監修 栄養と料理 編/女子栄養大学出版部)  
鉄をとるには、コツがある！



#### 「計算いらず 腎臓病のおいしいレシピ」

(富野 康日己 監修・大越 郷子 料理/Gakken)  
1日のたんぱく質指示量別に材料の分量を3段階から選べる。体にやさしいレシピ本。



#### 「計算いらず コレステロール・中性脂肪対策のおいしいレシピ」

(横手 幸太郎 監修・金丸 絵里加 料理/Gakken)  
1日の摂取カロリー別に材料の分量を2段階から選べる。体にやさしいレシピ本。



#### 「血圧を下げる！1か月献立」

(島田 和幸 監修・沼津 りえ 料理/成美堂出版)  
1日の目標 塩分7g 1,600kcal以下。朝昼夕の28日分。たっぷり80献立を収録。



#### 「糖尿病の基本の食事」

(春日 雅人 監修・金丸 絵里加 料理制作/Gakken)  
面倒な栄養計算は不要！かんたんレシピ130と低カロリーのコツ66を紹介！



#### 「手術後・退院後のベストパートナー 前立腺がん 病後のケアと食事」

(穎川 晋 監修/法研)  
患者さんの療養生活を支えます！



#### 「胆石・胆のう炎・膵炎のおいしい献立集」

(加藤 眞三 病態監修・大木 いづみ 栄養指導・検見崎 聡美 料理/女子栄養大学出版部)  
低脂質で病気の進行や再発を防ぐ！



#### 「更年期改善レシピ」

(対馬 ルリ子 監修・前田 量子 古賀 圭美 管理栄養士/扶桑社)  
大人の女性の心と体をととのえる。



#### 「食事療法はじめの一步シリーズ 便秘解消の毎日ごはん」

(川邊 正人 病態監修・高橋 徳江 栄養指導・献立/女子栄養大学出版部)  
食べてすっきり、おなかにやさしい。



#### 「『噛める』『飲み込める』がうれしい料理」

(山田 晴子 食事指導・赤堀 博美 料理指導/女子栄養大学出版部)  
食べやすくするポイントがひと目でわかる！



#### 「抗がん剤・放射線治療を乗り切り、元気いっぱいにする食事116」

(勝俣 範之・中山 優子 監修・加藤 知子 献立プラン・レシピ作成/主婦の友社)  
症状別に選べる！体をいたわるおいしいレシピ。

開館時間 10時～15時 土日・祝日・年末年始・第2月曜日は休館  
※第2月曜日が祝日の場合は、第4月曜日が休館となります  
場 所 正面玄関から入って直進 70m 先

患者図書室

売店

正面玄関



当院では今年の4月より特別メニューを再開しました。現在、月に1回火曜日に提供しています。  
4月・6月に実際に提供したメニューをご紹介します。



4月 和食 ~鯛づくし~



6月 中華 ~お花畑の天津飯セット~

普通食を召し上がられている（アレルギーや禁止のない）方に、案内を配布し、10名限定で希望者を募っています。

通常のお食事代金に500円追加料金をいただくようにはなりますが、普段の病院食では提供のない食材やメニューをお出ししているため、患者様には大変好評です。次回以降のメニューもお楽しみに♪

栄養管理室では、入院中のお食事が患者さんにとってお体の回復への一助になるだけでなく楽しみになるような取り組みを行っておりますので、ご紹介させていただきます。

**【選択食について】**

東西病棟入院中の普通食（禁止等のコメントがない場合）を提供している患者さんを対象に毎週水～金曜日の昼食・夕食でA食・B食のいずれかを選択いただくことができます。B食を選択された場合は、17円の追加料金をいただいておりますが、選択する楽しみや少し目先の変化もあり好評をいただいております。（写真はB食の一部）

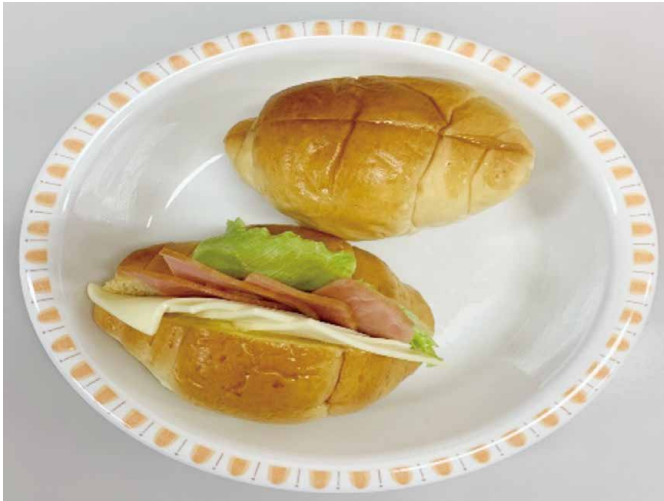


【ふわとろ卵のオムライス】



【えびカツバーガー】





【ジャムサンドとハムチーズのロールサンド】



【はもの天ぷら】

### 【笑食（わらべ）について】

あゆみ病棟・若葉病棟に入院中の患者さんより「私が食べたい料理」をご提案いただき、実現化する取り組みを療育指導室と協同で行っています。患者さんにとっての思い出の料理や懐かしい料理等、皆様の思いのこもった料理を提案いただいています。提案いただいた患者さんと実現化のために療育指導室のスタッフ、栄養管理室の調理師、栄養士で使用する食品・調味料、調理工程について打ち合わせをし、栄養管理室内で試作をしています。その後、提案者のイメージに近いかさらに打合せを重ね入院中の皆様へ提案者のメッセージとともに提供しています。これまで12品提供し、提案された方も召し上がった方からも喜びの声をいただいております。



【クリームグラタン】



【ミートボールシチューバジル】

入院中、食事を通じてほんの少しの楽しみをお届けできるようこれからも取り組んで参ります。

## 地域医療連携室紹介

地域医療連携室 安部 亜由美



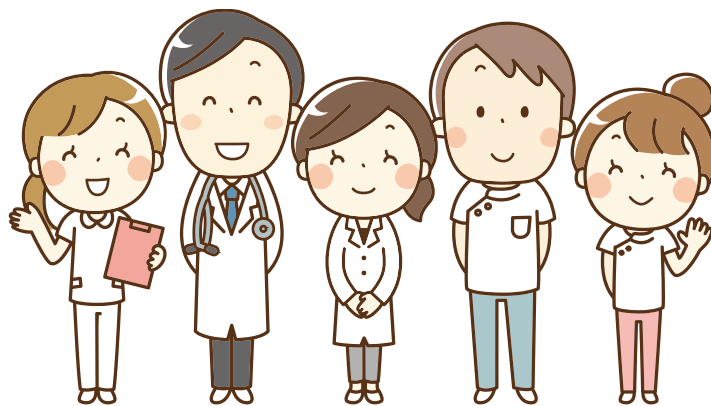
令和6年新年度がスタートし早4か月が経ちました。

令和5年度も地域の医療機関の皆さんから、多くの紹介を頂きありがとうございました。また、後方連携においても患者さんが安心して療養生活が続けられるよう医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの方々のご支援ありがとうございました。

当院は地域医療を支える地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院としての役割を担い、今年度新たに紹介受診重点医療機関としてかかりつけ医との切れ目のない医療の提供を目指しています。この機能を地域で発揮するためにも地域の医療機関の皆さんとの連携は不可欠です。

令和6年度も引き続きよろしくお願いいたします。

令和6年度、当院地域医療連携室職員のメンバーが変わりました。地域医療連携室長に外科 嶋谷邦彦診療部長、地域医療連携室副室長に形成外科 藤高淳平医長が加わり、経営企画室長、看護師長、看護師3名、MSW 3名、事務員2名のメンバーで令和6年度を乗り越えていきたいと思っております。



### ● 嶋谷連携室長から一言

長い間、この地域の患者さんは、同じお歳でも都会の方よりずっとお元気なのは、と感じておりました。最近では、社会全体の高齢化の影響か、いろいろな持病をお持ちの上でさらに新たに治療を受けていただくことが多くなりました。元気に一人暮らしされていることに尊敬の念をいだと同時に、程度の差はあれ、認知症の症状にご家族や我々も悩まされることが増えたような気がします。このような時代にこそ、地域医療連携室のスタッフの頑張りや、患者さんやご家族のお役に立てるのではないかとあらためて期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

室長 嶋谷 邦彦

### ● 藤高副室長から一言

以前「国病」と言われていた時に、当院で生まれました。地域の皆様に支えられながら成長し、けがや病気の時には開業医の先生方にお世話になりました。大学卒業後には、福井、大阪、京都、浜松と各地で勤務してきましたが、地元に戻り、ふたたび皆様に関われることを心よりうれしく思います。医学の進歩とともに、開業医の先生方との連携はますます重要となってきました。医療連携を強化し地域の方々に貢献できるよう努めてまいります。

副室長 藤高 淳平

また、当院慢性病棟では重症心身障害児者の短期入所の受け入れ、神経・筋疾患患者のレスパイト入院（広島県・山口県の在宅難病患者一時入院事業として医療依存度の高い患者さんのレスパイト入院の支援）、長期入院の受け入れを行っています。

難病の患者さんは、病気のこと、生活のこと、様々な不安・心配事を抱えていることがあります。このような在宅の難病患者さんの不安・心配事を少しでも解消し安心して療養してもらうため、定期的な難病電話相談を行っています。病気について聞きたいこと、治療や薬について知りたいこと、リハビリの方法や生活での工夫、社会資源の利用方法など、脳神経内科医師、看護師、理学療法士、薬剤師などがお答えします。

今年度第1回目の難病電話相談は下記日程で行う予定にしています。お気軽にご連絡ください。

## 第1回在宅難病医療相談のご案内

予約受付期間 令和6年9月2日（月）～令和6年9月20日（金）  
平日 13:00～16:00（土日祝除く）

電話相談期間 令和6年9月24日（火）～令和6年9月30日（月）  
※相談日時は予約時に調整いたします。

対象者 在宅療養中の神経難病の患者、家族



内容 医師による医療相談、介護相談、リハビリテーションに関する相談など

利用料 無 料

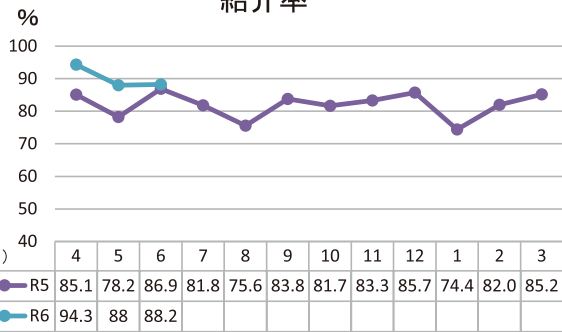
連絡先 0827-57-7183 内線(2603)

在宅療養中の神経難病の患者の方々やご家族の方々が安心して生活が送れるように電話で療養上の困り事の相談をお受けいたします。  
日ごろ抱えている不安や悩みがありませんか。専門的な相談にのってもらうことで、安心して療養生活を送る一助となることを願っています。お気軽にお電話ください。

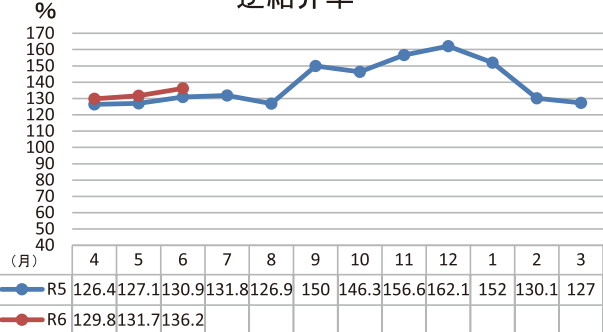


# 地域医療連携室実績報告

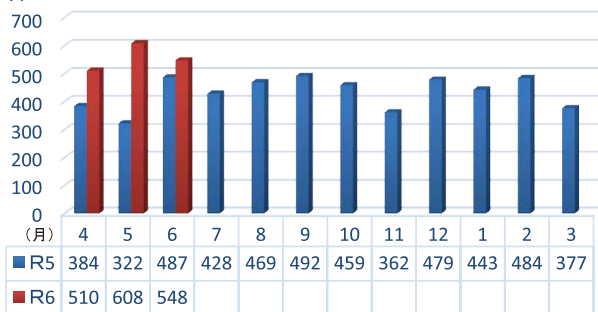
### 紹介率



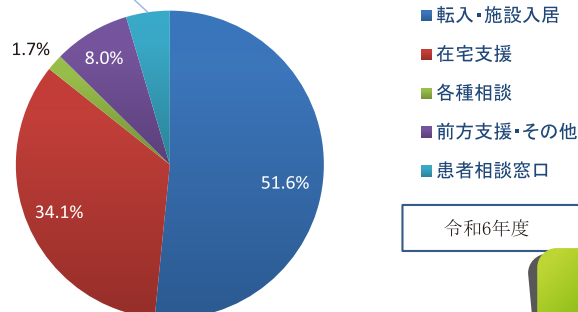
### 逆紹介率



### 延べ相談件数



### 支援内容内訳



# 紹介医療機関実績報告

ご紹介をいただいた医療機関を一部掲載しました。

紙面の都合上すべてを掲載できませんが、ご紹介をいただきありがとうございました。

紹介元医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人ハートフル アマノリハビリテーション病院	16	5
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	274	91
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	48	16
岩国市医療センター医師会病院	21	7
駐留軍要員健康保険組合岩国基地診療所(岩国ベース)	24	8
おおえ内科クリニック	78	26
医療法人社団明和会 大野浦病院	40	13
大竹中央クリニック	23	8
おだ整形外科クリニック	35	12
医療法人 木村医院	15	5
こうろ皮ふ科	23	8
佐川内科医院	30	10
JA広島総合病院	53	18
しまだファミリークリニック	42	14
ないとうクリニック	39	13
医療法人 中村クリニック	63	21
広島大学病院	15	5
村井内科クリニック	27	9
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	26	9
山下ケアクリニック	140	47
医療法人社団親和会 大和橋医院	20	7

紹介先(逆紹介)医療機関 上位20施設 (50音順)	件数 (総数)	件数 (月平均)
医療法人ハートフル アマノリハビリテーション病院	41	14
医療法人社団いちご会 糸谷整形外科医院	58	19
独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター	56	19
岩国市医療センター医師会病院	24	8
おおえ内科クリニック	42	14
医療法人社団明和会 大野浦病院	68	23
大竹中央クリニック	30	10
佐川内科医院	31	10
JA広島総合病院	77	26
しまだファミリークリニック	31	10
医療法人 中村クリニック	36	12
社会医療法人清風会 廿日市記念病院	14	5
広島大学病院	49	16
岩国市立美和病院	14	5
村井内科クリニック	21	7
医療法人社団知仁会 メープルヒル病院	47	16
山下ケアクリニック	111	37
医療法人社団親和会 大和橋医院	26	9
医療法人社団親和会 やまと病院	13	4
社会福祉法人広島友愛福祉会 特別養護老人ホーム ゆうあいホーム	17	6

※件数は令和6年4月～令和6年6月実績

# 「DPC対象病院」へ移行のお知らせ

専門職 廣瀬 康弘

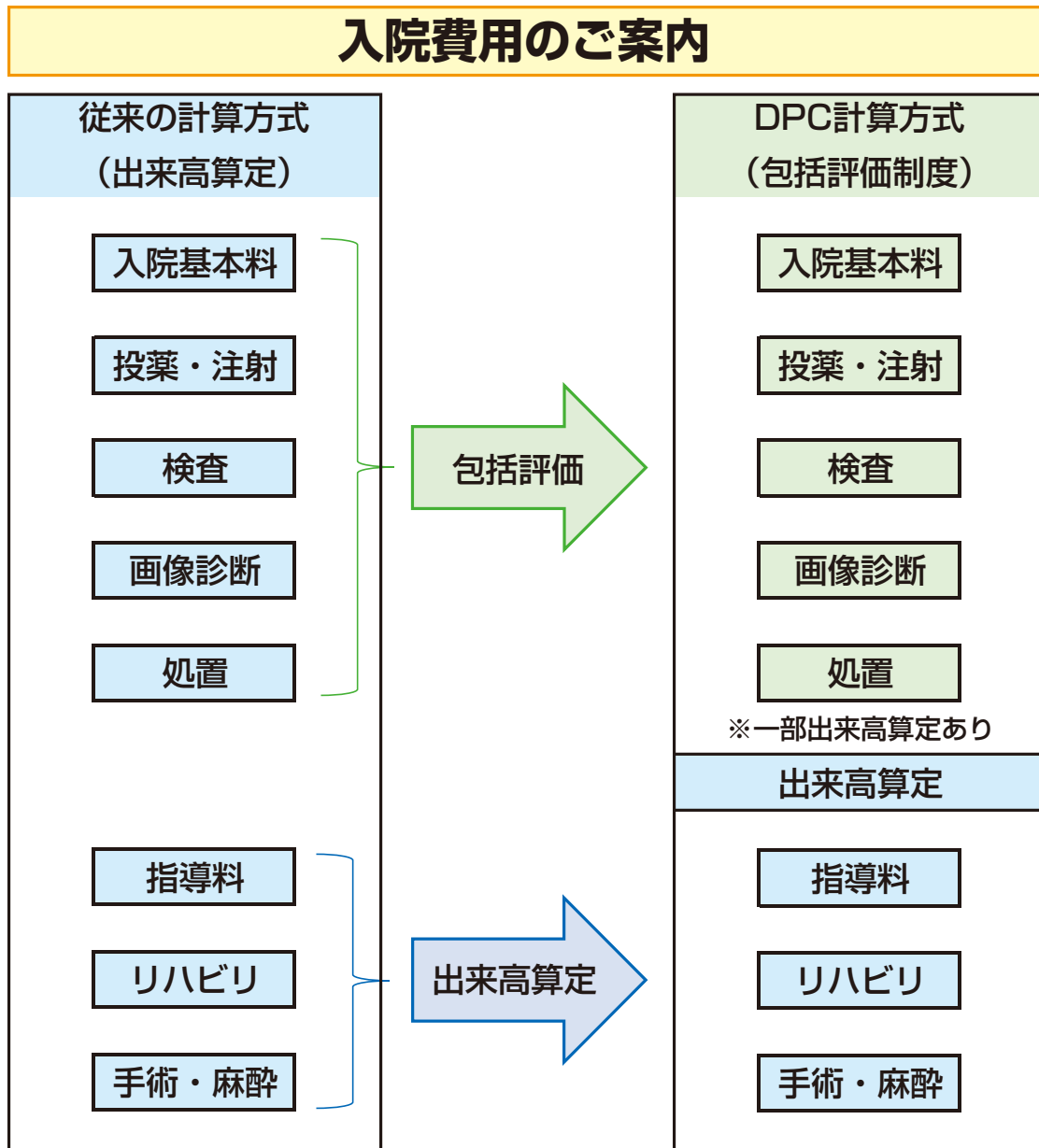


当院は、令和6年度診療報酬改定時（令和6年6月）から厚生労働大臣が指定するDPC対象病院として、「包括払い（DPC/PDPS）方式」による入院診療費の計算方式に移行しております。これに伴い、急性期入院医療を対象とする東2階病棟、東3階病棟、西2階病棟での入院医療費の計算方法が変更となっております。

※西3階病棟及び慢性期病棟（あゆみ病棟、若葉病棟）はDPCの対象外のため、従来通りの「出来高方式」による計算となります。

## 包括払い（DPC/PDPS）方式とは

診療行為ごとに入院医療費を計算する従来の「出来高方式」とは異なり、入院患者さんの病名とその診療内容を元に、厚生労働省が定めた1日あたりの医療費からなる包括評価部分(入院料、投薬、注射、検査、画像診断等)と出来高評価部分(手術、麻酔、リハビリ、指導料等)を組み合わせる方式です。



# ●●● 外来診療担当医表 ●●●

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。  
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

## 広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで ●…前号からの変更箇所

令和6年7月1日現在

		月	火	水	木	金	備 考
総合診療科	1診(新患)	生田 卓也	渡邊 凌平	渡邊 凌平	生田卓也/渡邊凌平	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患
	2 診	渡邊 凌平	生田 卓也	生田 卓也	渡邊凌平/生田卓也	渡邊 凌平	
内科	1診 呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	広大(血液)	再診外来予約制
	2診 消化管・肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	藤堂祐子(消化管)	
	3診 内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	広大(内分泌代謝・糖尿病)	/	
	4診 血 液	広大	角野 萌	宗正 昌三	黒田 芳明	新患担当医(血液)	
	5診 循 環 器	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	
	6診 腎臓/血液	黒田芳明(血液)	平塩秀磨(腎臓)	/	谷 浩樹(腎臓)	平塩秀磨(腎臓)	
脳神経内科	1 診	鳥居 剛	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制
	2 診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍 北村 樹里	檜垣 雅裕 (頭 痛)	黒田 龍	予約制 PM
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM
禁 煙 外 来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制
小 児 科	一 般 外 来	広大	/	/	/	/	
	専 門 外 来	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	受付13時~16時 予防接種は13時~14時(予約制)
小 児 科	小児筋ジストロフィー	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	予約制
	重症心身障害	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	金子陽一郎・円山牧子	
	小児心身・発達	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
	神経外来	/	小林 (第3)	/	/	/	
補 装 具		/	/	/	/	/	
外 科	初 診	石崎 康代	豊島 幸憲	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/石崎/米神/豊島	金曜日交代制
	再 診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	豊島 幸憲		
整形外科	初 診	神原 智大	田中 碩	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日
	再 診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦	
	再 診	(永田義彦/田中 碩)	広大医師	神原智大/田中 碩	/	田中 碩/神原智大	月曜日( )手術
形 成 外 科		/	藤高 淳平	/	藤高 淳平	藤高 淳平	
泌尿器科	1 診	安本 博晃	/	安本 博晃	広大医師	安本 博晃	火曜日手術日
	2 診	坂本 勇樹	浅野 耕助	坂本 勇樹	/	坂本 勇樹	木曜日手術日
産 婦 人 科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制
皮 膚 科		招聘医師	/	招聘医師/招聘医師	/	/	予約制・水曜日隔週
眼 科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日

### ●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701